

教師教育開発部門 稲田 修一 准教授

私は、本年4月から教師教育開発センターの所属となりました稲田 修一と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、私が科学実験教室の素晴らしさと出会ったのは、今から16年前（1998年）、「青少年のための科学の祭典 岡山大会」に実験講師として参加した時からでした。この大会は、東京の科学技術館（全国大会）で始まり、3日間で約5万人、100くらいの実験ブースが毎年全国から集まり、さながら理科の先生の甲子園のような状態で盛況でした。右の写真は、慣性の法則を直接体感して学べる「人が乗れる手づくりホバークラフト」を全国大会に出展した時の様子です。ちなみに「等速直線運動」という札



をいすの横で持っているのが私です。手で背中を押すと隣の大人の方がいすに乗っても、するすると地面の摩擦を感じないように進む不思議な乗り物です。

全国大会に参加して感じたことの一つは、海外の方々日本人以上によく勉強しているということです。参加者は、日本人以外に韓国・中国・アメリカかと思いきやフランスと様々です。中国系と思われる参加者がブースにきたので、片言の英語と身ぶり手ぶりで説明しようとした。ところが、日本語は話すし、もちろん英語も何の問題もなく話す。しまいには英語で質問してくるのでとまどいました。東京のグローバルさを感じるとともに、語学力の無さを痛いほど思い知らされました。

このような活動を起点として、保護者が子どもとともに科学技術に常に関心を持ち、色々な場所で共に学ぶ機会となればと考えています。

教員リレー・エッセイ②「はじめまして」

教職コラボレーション部門 近藤 弘行 教授(特任)

この4月から、インターンシップに関わる仕事をさせていただいています。現在、岡山市、赤磐市、倉敷市、総社市の学校園の中から計30の幼稚園、小学校、中学校に約280名の学生が現場体験をしている最中です。専門委員長の李先生とすべての学校園を回ってきましたが、とても好意的で喜ばれています。逆に、距離的、時間的なことから、きてもらえない学校からは、残念がる声がかかります。



さて、現場でよく耳にしたのが、今の若い先生はコミュニケーション力に乏しい、大学でしっかり身につけてほしいといったことでした。しかし、何校かてみた学生の表情やしぐさは、それらを打ち消すものでした。しっかりあいさつができ、笑顔が多かったのが印象的でした。また、上から目線ではない接し方も好感が持てました。どの学生もそうあってほしいのですが・・・。

教職コラボレーション部門に所属し、学校支援ボランティアに関する仕事にも携わっていますが、最近の学生は、本当によく学校支援ボランティアをしているなど感心しています。校長の時に、新採用を計十数人受け入れましたが、ボランティアを経験している人は全くしていない人と比べると、子供への接し方がとてもスムーズで経験が生きているなど感じています。今は、普通科の高校生が忙しい中を時間を見つけて、ボランティアにきてくれる時代ですが、教職を目指す学生にとっては、この学校支援ボランティアとインターンシップは、ともに現場の普段の状況を体験する絶好の機会です。何も経験しないですぐに新採用として子供の前に立つのでは、大きな違いがあると思います。一人でも多くの人に学校支援ボランティアも経験してほしいものです。また、学生のうちに、一部の限られた人とだけではなく、いろいろな人と接し、人間の幅を広げるようにしてほしいなと思っています。

教員・講師等募集情報/スクールボランティア募集情報

- 京都学園中学高等学校 教員募集
- 学校法人津田学園 教員募集
- 京都橋中学校・高等学校 教員募集
- 海星中学・高等学校 教員募集
- 岡山市学校支援ボランティア(岡山市教育委員会生涯学習課)
- 倉敷市「居場所」ボランティア(倉敷市教育委員会生涯学習課)

「岡大教職ナビ」では教職課程を履修しているすべての学生に役立つ情報を随時配信しています。ここでは配信した最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報はセンターホームページをごらんください。

平成26年度第2・3・4回教師力養成講座のご案内

- ◆第2回「小中高等学校におけるキャリア教育」を考える
 - 日時 平成26年6月25日(水) 13:00~16:00
 - 場所 教育学部講義棟 5206講義室
 - 講師 岡山県立笠岡工業高等学校 校長 赤木恭吾 先生
- ◆第3回「子どもの何を褒め、何を叱らなければならないのか」を考える
 - 日時 平成26年7月9日(水) 13:00~16:00
 - 場所 教育学部本館 401教室
 - 講師 岡山市立西小学校 高原建裕 先生
- ◆第4回「児童を「学習する主体」に育むための学級経営(仮)」を考える
 - 日時 平成26年8月6日(水) 13:00~16:00
 - 場所 教育学部講義棟 5102講義室
 - 講師 滋賀県大津市立中央小学校 神田豊 先生

《教職相談室からのお知らせ》

夏季一斉休業(以下の3日間)は
教職相談室を **開室** します!

8月13日(水) / 8月14日(木) / 8月15日(金)
(開室時間 10:00~17:00)

岡山県・市2次試験の直前の3日間です。また、それと同時に、教職相談室の近くの教室も何部屋か開放します。試験勉強や友達との情報交換に大いに利用してください。待っています。

東山ランチを活用しよう!



☆東山ランチとは?

教師教育開発センターは、教育学部附属学校園が位置する東山キャンパスに「東山ランチ」を有しています。東山ランチは、大学と附属学校園の橋渡しだけでなく、大学・公立学校園・教育委員会をつなぐ連携協働拠点としての機能も果たしています。

☆学生も利用できるってご存知??

東山ランチは、館内施設の一部を学生や教職員が利用できるよう貸出しています。12名から最大48名まで入れる会議室は、主に各種会議に利用されていますが、東山地区で授業を行う場合には講義・演習室としても利用されています。その他にも、学校教職員を対象とした勉強会やセミナー、学生同士の教職に関する勉強会等にも利用できます。さらに、授業研究室には書画カメラや電子黒板が備わっていますので、実際の教室さながらの環境で、ICT教育機器を活用した模擬授業練習を行うこともできます。またICT教材開発室では、パソコンを使用しての教材作成や指導案作成、その他、動画の編集などもできますので、自分の授業分析や現職教員の授業ビデオの作成等も可能です。

実際に触れておくことで、自信を持って学校現場で活用ができることでしょう!! さらに、資料室には新・旧課程合わせて845冊もの教科書及び指導書を配架しています! 教育実践に関する資料も多数保管しています!! ぜひ授業研究等に使用してください。授業に深みが増すこと間違いなしです!!!

☆物品も貸してくれるってご存知??

東山ランチでは、教育現場で使用する機器や各学校種で使用されている教科書や指導書の貸出も行っています。例えば、プロジェクターや書画カメラ等の教材提示装置、ビデオカメラ、デジタルカメラ、ICレコーダー等のメディア記録機器、屋外でのイベントには【必需品】であるメガホンやラジカセ、延長コードまで貸し出しています。さまざまな教育活動にお役立てください。また学生のうちに様々な種類の機器に

☆利用方法をご存知??

利用は、原則として平日10時半から17時までとなっていますが、本学教職員がいれば、「東山ランチ貸出セット」を使用することで、いつでも施設を利用できます。このセットには、施設に入退館するために必要な鍵から利用方法まで、施設利用に必要なものをすべてまとめているので、安心して利用できます。学生が利用する場合は、予め担当教員の許可が必要となりますが、事前に相談していただければ、教育機器や教科書・指導書等を利用することは可能です。

◆詳しい情報は、すべて教師教育開発センターのホームページに掲載していますので是非ご一読ください。東山ランチは小さな建物ですが、教育の秘法がぎゅっと詰まっています。一度、足を運んでみませんか?

【文責:後藤大輔】

TOPICS
今号の主な記事

- 【特集】東山ランチを活用しよう
- 【報告】第1回教師力養成講座
- 【報告】岡山市教育委員会との専門部会
- 【報告】現職CST四期生開始
- 【報告】1年次全学教職課程スタート
- 【連載】教員採用試験のツボ その九「今、大切にしたい2つのこと」
- 【連載】教員採用試験受験記: 山下加奈恵さん(教育学部 小学校教育コース)
- 【案内】教師教育開発センターホームページを活用しよう
- 【連載】《教員リレーエッセイ》
 - ・教師教育開発部門 稲田修一 准教授
 - ・教職コラボレーション部門 近藤弘行 特任教授
- 【掲示板】「岡大教職ナビ」最新情報
- 【掲示板】「教師力養成講座」開催予定
- 【掲示板】「教職相談室」からのお知らせ

第1回教師力養成講座 「どの子も参加でき どの子もわかる授業」 -特別支援教育の視点に立つ指導-

26年度第1回目の講座では、「通常学級における特別支援教育」を取り上げました。講師には、赤磐市立石相小学校長 金光一雄先生をお迎えしました。

石相小では、「特別支援は、障害のある子だけでなく、すべての子に優しい」という考えで研究を進めています。授業づくりでは、「見通しをもつ」「表現できる」を視점에、授業の流れの提示、説明ボードの活用等に取り組んでいます。また、環境整備の工夫として、教室の壁面整理、視覚化等を進めるとともに、ワールドカフェ方式により校内研修の充実を図っています。この取り組みは、学力向上につながりました。その結果、職員の共通理解が進み、「動けば、何かが起きる」という思いで職員のやる気の高まりも見られるそうです。

講話を受けて、グループで「通常学級で特別な支援を必要とする児童への支援の在り方」について協議し、全体への報告を行いました。それに対して、金光先生から助言をいただき、講座を終えました。子どもを中核に置き、学校全体が同じ方向に向かって取り組むことの大切さを改めて感じました。

当日は副実習事前指導と日程が重なり、参加できなかった方もおられたようです。第1回講座のDVDも、教職相談室で見ることができます。

【文責：武藤幹夫】



◆日時：平成26年5月29日（木）
◆場所：教育学部本館第1会議室
平成21年から始まった岡山市教育委員会と岡山大学との連携協力会議専門部会は6年目を迎え、さらに実効性のある連携を目指して今年度は次の2点を中心に話し合いが行われました。

(1) 初任者サポート事業（仮称）について
学校現場に出たばかりの初任者教員を大学としてもサポートしていこうという話題が昨年の専門会議で出されていましたが、共通認識が出来てきたので、今年度は6月に市教委・県教委・大学とでサポートの方法や窓口、またそのあり方について具体的に検討していく方向性が示されました。

(2) インターンシップと学校支援ボランティアについて

昨年からはじめたインターンシップ制度の影響か、学校支援ボランティアの登録状況が急減していますが、この二つの事業の目的に相違はあるものの、「学びの場の提供」という面は同じでどちらも意義深いものです。学校園も学生の参加に大きな期待をかけているので、積極的な参加を大学からも働きかけていくことが話し合われました。周辺部の学校園とのマッチングなど課題もありますが、今後、地域総合研センターで「マッチングシステム」を構築する計画が構想段階にあることが紹介され、今後の取り組みへの期待感が高まりました。この他にも今年度のそれぞれの事業、「先進的教員プロジェクトオンデマンド事業」「習熟度サポート事業」「中学校区で育む学力アップ事業」「ESD=ユネスコスクール推進事業」「教職員研修・教育研究」などが説明され専門部会を超えるものは合同連携協力会議に繋ぎ、岡山市と岡山県・大学が今後一層連携協力を進めていくことを確認いたしました。【文責：曾田佳代子】



現職CST第四期生開始

3月に小学校コース6名、中学校コース5名の計11名の先生方を第二期現職CSTとして認定し、送り出して間もない現職CST養成プログラムですが、4月19日（土）に第四期の先生方を対象に新たなスタートを切りました。平成26・27年度生として本プログラムに参加していただく第四期の先生方は、小学校コース7名、中学校コース2名の計9名です。今年度も、岡山市、倉敷市、笠岡市、総社市、瀬戸内市、津山市、早島町など各地域から推薦をいただきました。

第四期生としてプログラムに参加していただくにあたり、本年度は新しい試みとして、第二期の先生方のCST認定式と第四期の先生対象のプログラム説明会を同日に開催し、プログラムを修了される先生方とこれからプログラムに参加していただく先生方とで懇談をしていただきました。2年間のプログラムに参加していただいた先生方から率直な気持ちを伝えていただくことで、第四期の先生方の不安等を少しでも解消していただければと考えたからです。4月19日の第1回目の講座には、安心して参加していただくことができました。

第1回講座では、1時間のオリエンテーションの後、さっそく小・中学校それぞれのコースに分かれ、CSTとしての授業のあり方、観察・実験に関する課題など、これから取り組んでいくべき内容についての共通理解を図り、具体的な授業づくりや観察・実験の改善について協議したり演習を行ったりしました。

本年度の現職CST養成プログラムは、講座内容を全てのCSTの皆さんにお知らせし、必要に応じて参加していただけるようにしています。同じCST同士が高め合う場として、活用していただければと考えています。【文責：山崎光洋】

【文責：山崎光洋】



1年次生 全学教職課程スタート！

教員採用試験のツボ その九「今、大切にしたい2つのこと」

本番まであと1ヶ月となりました。この時期、筆記試験の勉強を計画的に続けることは勿論ですが、それ以外に大切にしたいことが2つあります。1つは、「こんな先生になりたい」「こんな授業や学級経営をしたい」という『自分が教師になってからのイメージ』を豊かに熱く語れるようにしておきましょう。そのためには、これまでに出会った先生やしていただいた教

育、教育実習やボランティアなどでの経験を整理して、『なりたい自分の姿』を鮮明にしておきましょう。あなたの語る言葉の中の「熱い思い」が合否を分けます。

2つ目は、仲間をつくって「一緒に頑張る」ということです。最終的には自分が頑張らなければならないのは当然ですが、人間誰でも、自分一人だけでは頑張り切れないものです。そんなときに支え合えるのが

仲間です。例年、よい仲間をつくって一緒に頑張っている人は、揃って合格されているように思います。また、仲間の大切さを実感している人ほどよい先生になられているように思います。教職相談室での面接や模擬授業の練習に合流することによって、いろいろな仲間と出会うこともできますよ。お盆休みも開室しますので、是非利用してください。【文責：小川潔】

<教員採用試験受験記> 岡山県 小学校教諭 合格

教育学部 小学校教育コース 山下 加奈恵さん

教員採用試験に向けて、日々取り組んでいることと思います。私は「ことばと具体的な経験をつなげる」ことを意識して面接練習に取り組みました。教師になりたいという思いには、自分の小学校・中学校時代の素敵な先生との出逢い、実習での子ども

とのかわりなど、みなさん必ず裏付けとなるこれまでの経験があると思います。具体的な経験を思い出しながら語ることで、きっと、表情が変わります。声が変わります。瞳の輝きが変わります。面接は「こんな教師になる！」という自分の熱意を語る事ができるチャンスです。友達と共に練習しながらたくさん話をする事で、

自分の思いや記憶がどんどん引き出されてきます。共通の夢をもつ仲間と毎日悩みながら、笑いながら、教員採用試験に向けた時間は今の私にとって宝物です。きっとこれからの人生にも大事な時間です。みなさんも仲間と一緒に最後まで頑張りきってください！ありがとうございました。

教師教育開発センターホームページを活用しよう！

岡山大学学生のための教職情報サイト

岡大教職ナビ

教師教育開発センターでは、パソコンや携帯電話を使ってホームページから教職に関する最新の情報をいつでもどこでも確認できる「岡大教職ナビ」を提供しています。卒業後も継続して利用できますので、「岡大教職ナビ」を活用して、あなたの「教師」への夢を叶えてください！

- ・教職課程履修に役立つ情報満載
- ・教師力の自己研鑽に役立つ情報満載

岡山大学学生のための教採対策サイト

教採羅針盤

「教採羅針盤—ComPass—」は岡山大学に入学してから卒業するまでに、教師を本気で志す学生が教採合格を目指してどの時期に何をすればよいのか、教師になるまでの羅針盤として活用してもらうためのサイトです。しっかりと活用し、教採合格、そして第一線で活躍できる教師を目指しましょう！

- ・全国の教員採用試験概要情報
- ・過去の教員採用試験倍率情報
- ・講師登録情報 など

<http://cted.okayama-u.ac.jp/>